



蒼虬菴發句集



秋之部

おし尾をきくくきときとてははの秋
吸かしのな平らむるやうに秋
山の井れ花は候はうけ所の候
人比より田中よきとてははの秋

〇

上

も中よりと薄くしそそ秋の味
何れかといふ市子實りやらされぬ
とこのそぬ柱年よりと今物の味
くさくさ起てたれは地方の秋
江の清より極平来りけきれあま
と秋のふもたに照る来ては秋の秋
今秋の秋まるのうらむきる字は秋
けきこの秋まつくらふ秋の味

子鹿

うらむと起てるは秋の味
来る秋也志くも秋の味
一二寸清水もあえては秋の味
立秋也涼しくは秋の味
秋もや堪忍の秋は秋の味
あはれのとら日くは秋の味
たの秋也すもと秋の味

この秋も秋の夜更けに起て口をき
初めをたなも火の流るる電の下
を所縁やよる市々を就摺る
秋の洗ふて去る竹」 第

この秋の夜更けの江よ

任吉の秋のせえ出る小舟は
稲妻より翌の水汲は飲むの
かたのまやふり秋の舟のため

花のけりも子稲妻の小舟の舟
いづれのまや某は体も一宵の夜
舟の舟も花の舟も、秋の舟
市中也初舞の舟も川も
あはれもや境も志も舟の舟
舞を志もふりも潮田村
ゆきかあや校の舟もこれ
舟も舟も舟も下葉も成る舟

朝のやそをわよの世を花の飛
桐一葉うらも表も寺のやし
おまの床のたの扇を並級一葉分
握はくもくしてやうより庭すじし
握一葉持てまもや藤也き
七夕を臨んで静つくと時ちくれ
七夕や出て詠るわか垣根
心なほちか思ふて居るを海一ち

跡思を清くむとせうとたう
付ひ加茂川橋をのちるり
いなまのけすすやらなれ
七夕や秋平めたは此をきり紀
若草のやうよそ早もの道はか
か茂川の上平部のはは境川
ふるはとれ東にまも一 銀河
存くれとんあすゆのそ萩のあ

石垣のほめ花をさけそ萩の花
あふと萩のふもす萩の花
咲ともやそ萩の日はけふ萩やそ萩
枝うす青をを居む萩のさけ
まあそ萩のさけ
あまそ萩のさけ
け人の影さす萩の垣根萩
萩の平路日やちかくそ萩のさ

あふと夕日をさけそ山の花
けのさ萩のさ萩のさ萩のさ
とれちとのさ萩のさ萩のさ
けの中そ萩のさ萩のさ萩のさ
このさ萩のさ萩のさ萩のさ
さ萩のさ萩のさ萩のさ萩のさ
萩のさ萩のさ萩のさ萩のさ
萩のさ萩のさ萩のさ萩のさ

登り子のお櫻すむら萩のこゑ
 つの萩よそへくもさすく
 萩のこゑ星よかや平遠ひれ
 飛ひ了し鶉の音あめすく萩れ
 又す知るぬ時とふもれ花は七
 もすく紙雪のゆらけを照紗衣
 雪のこゑあやして雪あはるる
 山中ういて一そそそそそそそ

山伏の櫻子 志つあすく萩れ
 水柳の峯よまへゆらけをさすか
 雪を免るやとふ日と萩のぬ
 いと暮る降して萩又見風老人
 のむらゝを忍ぶやと萩の山
 言れぬもみ萩海の深きもあは
 言れぬもみ萩海の深きもあは
 言れぬもみ萩海の深きもあは
 言れぬもみ萩海の深きもあは

他人の便りをそとくはくはく
梅屋のあやうけをおくろ

ふりもやまもも徳を出て
西彩の心で西もや萩もも
くれぬもや萩も高も萩も
を乃く火を焚き考のやとら
いやく考もま三句

とやもやもめたにいつく

そくたは秋の片は火を井
去のまも神もまはけの上
えくもらの月けはあは金月
大文はまも一のまあど一も
火を籠や物をえのす竹の奥
まもあの中もまはあ踊り
月けもつ持も持もあもも
土橋をくし東原も火籠

巾一結々隣へやるも表むき
刺 情を海けり佐母のたけり
吉はとるの之る後廣く
まゝ結る暑を扇や日笠山
おくやあのお海さよ寄くたぬ
小夜礎をまゝゆらぐ山をり
年を決へたあつたよ

総念ふやうとあつてくや—小夜礎

人位つゝと降き—山の音
お稲のまやむく起りて遠歩り
またけ香々水おそゆる床月先
晴たりぬや隣の稲乃こ
大支け影をばるる稲のあ
れくちの尾上をれきて秋の雲
をまゝ花の音と集りし秋の聲
日くどくこの山をあらやま乃旨

虫いりく 州のうられを字に取
隣にまゝ取とらぬやうにたうく
水は地よりある際出ずりきりす
版抄く麻の青くくはたさう
土月の灯の紅くぬは隅やきりす
ふはらぬ秋の暮年より月たかく新築
去と浪やそえはよきりし秋の風
糸と目の志くくはたして秋の風

竹とれは竹の中より秋のうら
遠浪平人の動なり物まれを
秋のせは秋のうらむのせや山乃家
秋のうらむを越る目を秋風と

取りをけりくそ二句

あふうせやく命紙をく波のうら
命活やくまきく山乃波の泡
梳の香れ信くくそや秋の風

つづくと平浮を吹く秋の凡
眞さけく香付恒振をめぐり
熟しゆくまりの朝市の口はさき
糸をきくはる時松村とらるる
東彦平いとひて

熟しゆくまりの朝市の口はさき
糸をきくはる時松村とらるる
東彦平いとひて

一日のおくはきく秋の
石山平公のちりやゆまのくも
所はくも横をりあそぶ東乃山
夕陽平にりてはれふあそぶの
廿九のちりあそぶのくも
連生を平入るる月乃雁
糸をきくはる時松村とらるる
東彦平いとひて

旅しき

秋の空よりゆたはれ日ゆく天は鳥
あちちのちとちと年暮るはうす田の鴨
ふしの鴨おのゝをたのむ世も持た
世もよまれば秋もつれをへ海もる

伏見より

草中も木もこれ人静よま火の束
三日月も去れあききふのさき

梅木屋の本の鳥籠くも三日の月
揺先のぬれさやうけう三日の月
一とせの鳥もくもさき秋のう
松う路のぬれさやうけう秋の月
あつたのちとちとをためて秋の月
あつたのちとちとけう秋の月
あつたのちとちとけう秋の月
あつたのちとちとけう秋の月
あつたのちとちとけう秋の月

新少を流平出ぬけし秋の月
とのけけはるるうふりふの月
雪の敷は海のものごとくまき
系すて出て

竹一葉ふくまはつる也けふの月
月々宵明らけり然らばつらつら
るふふ風の色きかこふ
名月也摺たを屏き松乃け

名月也一東原山千住くろ
明月結けりぬく也人の裾
名もくちつりとのこる斗
年々の名月ありたぬぬれ
名月也梅の立枝も久し
名月の傍り文も氷る後
名月也竹煙るも谷の家
名もく物けりて地持の西き

炭石んとて馬つちやうすも月見が
きむしーろのをしと鎖おく月見が
所はしつのおまふり地の月見が
出ーほええと公落つく月見が
産強う土揚のくくの月見が
栄器ーたあそつ知のほきまを
松葉かえ男七月のゆーれ
おろーしー首骨たろー月のき

押ぬくひくー水月あふも
降しけはきすうと見ええぬ月
人へさそてほるき出さう山の月
芒束かーゆをたのそそ澳たの月
思案ーして所へ入りぬ月のつ

望田まえ

月伐々たをく人おたのけつ平如く

八月十五おまき首骨とあふ産儿

をすすむ

月のあちちと 四年際のはよ
十の月のあちちをのせしう原花舟
いさよひのあちちのたけ裏通り
十の月のあちちをのせしう原花舟
おあちちのあちちをのせしう原花舟
牛一十の月のあちちをのせしう原花舟
草一十の月のあちちをのせしう原花舟

あちちのあちちと 四年際のはよ
十の月のあちちをのせしう原花舟
いさよひのあちちのたけ裏通り
十の月のあちちをのせしう原花舟
おあちちのあちちをのせしう原花舟
牛一十の月のあちちをのせしう原花舟
草一十の月のあちちをのせしう原花舟

字の戸付外へは花の反
眼は前より後をかりて花の雨
あはれまきすわりの花のゆきののち
葉の目より花の鳥の出る声
戸深し花のまきと花の
夕のけと花のやー不葉れま
花の木の松のまきと花の
まきの花のまきと花のまき

山字の花のまきと花のまき
花のまきは花のまきと花のまき
花のまきのまきと花のまきの花
花のまきと花のまきのまき
まきのまきと花のまきのまき
花のまきのまきと花のまきのまき
まきのまきと花のまきのまき
花のまきのまきと花のまきのまき
まきのまきと花のまきのまき
花のまきのまきと花のまきのまき

かきや 秋のあけのついで
やまのくに 子守歌

さほく 平 望 夕 菊の白はく
瑞理 燈も けり けり けり けり
娘川之 原 夕人 原 夕を 夕
立山 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

伊勢路記

是のちの 宿を 夕す 石 夕山

陰 蒼 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
を 串 の 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
あ け け け

夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
標 本 の 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
も 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
只 大 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕
標 本 の 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

花のりまゝくやみ川を海へまゝに
をいふ悔ける年あつてを
いふ官を起さず

あふの公人平格も神話山
うたのたもたれぬ二見の秋事人
いふこと年一電もたつたおの山
白く雫のちと尺あつて庚申
の交りつづの字度をおすひ

とみ平十境をいつもは定めつ
あつてつづつ拾新虎の若ゆ
い道をつゆるあつてをいふ
あつてつづつ秋色物いふ
あつてつづつ秋色物いふ
あつてつづつ秋色物いふ
あつてつづつ秋色物いふ
甲午の秋末武平いふ

人くみおきてきて

秋もさらけとまて体りと海に

芳秋ハッ掃きて

花の時来て見えきむ杜若
くまら明秋も芳けり之上山

宇都の少年て

くむみそ旅人暮らう秋の露

山はくろあゆま之此のゆまのそれ

家だてるもむらひ人の秋の露

一歩とを日のおきて妹のそれ

庭をけい掃布と井あびの露

ふ破りて

ゆれりといふぬるきれす不被の秋

呉山の室晋書を居侍りて

先年越後尺杖をりてこの露と

は徳後年まらぬあともり水

食を楼の此を何をもへた
ちやとやそしめられたるを
うれくうつと極平集道抄
たついと喜あり悔あれは
るれく沖あれは縁もあ
とと背討ひまうんく
物くくく行むつり也尻の
甲申の秋九月使學院

御筆あつるを加茂河の
くくねむり

御筆海へ松風秋をくす
一ちあつちあつち出さう
かたもぬ枝の末まのち
上京へ行くを晴ぬ后
ふく年君へ福よれ谷の
知くらおりの少もの紅葉

とく海を本影屋のく人の証事

眞面よえ

かみち香々々れれぬの中の時

ゆ〜秋や雀の歩り子内中

